

自社商品が“売れる商品”になるためのヒントが見つかる！



参加無料

商品開発研修 & ニーズマッチングイベント

ちばのキラリ
商品支援事業2025

2026.

3.17(火)

(12:30～受付開始)

13:00▶17:00

会場:ちばぎん本店ビル 大ホール



参加申し込みはこちら

受付締切 3.10(火)

① ちばのキラリメンバーに
既に登録の方はこちら



② ちばのキラリメンバー登録をされていない方
(登録完了後にイベントへのお申込みをお願いします)



どんな イベント?

「いいものを作っているのに、なかなか手に取ってもらえない」
「自社ではできない技術を持っている事業者とつながりたい」

そんな悩みを持つ生産者や事業者のみなさんに
参加していただきたいイベントです！

今回は、ちばのキラリ・販売展開支援部門を担当している(株)生産者直売のれん会が実施した
「商品開発ゼミ」参加事業者の3社が学んできた「観光土産」市場で勝ち抜くための
商品開発のノウハウを公開します。その他、事業者同士の交流や自社商品のPRをできる機会もご用意！



Program-1 研修

1 【講演】 商品開発ゼミワーク ダイジェスト紹介

全国各地で様々な地域の特性を活かした商品開発をプロデュースしてきた黒川氏による講演。「観光土産市場の現状」や「良いものを作るものにするために必要な視点」など、ゼミ参加事業者へ実施してきた”コンサルティングストーリー”を公開。

登壇者:黒川 健太氏

株式会社生産者直売のれん会 代表取締役社長

2 【成果発表】 ゼミ参加事業者による トークセッション

実際にゼミに参加し、商品開発に挑んだ県内事業者が登場。「以前の商品と何が変わったのか」「開発過程でぶつかった壁はどう乗り越えたか」など、同じ悩みを持つ事業者だからこそ共感できる、実践的なヒントが満載です。

登壇者:

黒川 健太氏(株式会社生産者直売のれん会)

小倉 輝一氏(有限会社小倉商店)

平山 善典氏(有限会社丸恭)

蓮田 浩利氏(有限会社くらうと)

3 【ワークショップ】 “売れる商品” 開発ゼミを体験

ゼミで行われた内容を簡略化した「商品開発ワークショップ」を体験。

●自社商品の「強み」と「ターゲット」のズレはないか？

●そのパッケージは、お客様にメッセージを伝えられているか？

実際のフレームワークを使い、会場の皆様にもその場で思考の整理を体験できます。

Program-2 ニーズマッチングイベント

事業者交流会

ニーズマッチング商談会

【過去イベント参加事業者の声(一例)】

- ・初めて参加したが、多くの異なる視点を知ることができて勉強になった。
- ・色々な事業者と話が出来てよかった。
- ・「千葉」をそれぞれが事業者目線で様々な商品やサービスを開発しているのだと感じた。
- ・他の事業者がどのようなコラボをしているかを知ることができて大変勉強になった。

事業者個別ブース&チラシ配布コーナー

自社の取り組みや商品を来場者にアピールできます！



事業者個別ブース 出展無料

- 限定約00社程度(抽選制)
- 一部試食可能(ブース数限定・禁止事項有り)

チラシ配布コーナー 無料

チラシ等配布物を各自お持ち込みください。

※詳細は下記QRコードのリンクにてご確認ください

講演・成果発表



黒川 健太氏

株式会社 生産者直売のれん会

企業概要

住所：東京都台東区雷門1-2-5
事業：直営店舗事業、商品企画開発、
コンサルティング、海外事業
HP：<https://www.noren-kai.com/>



2007年、ベンチャーリンクの子会社として発足した生産者直売のれん会の社長に就任。2010年にMBOにより独立。東日本大震災後の東北復興支援事業をきっかけに、「食を通じた地域興し」を全国の自治体や地域金融機関様と連携し推進。また、オリジナルブランド商品企画事業、食を通じた地域活性化事業のコンサルティング、全国の生産者と連携し、12ブランド30店舗以上の直営店を展開している。

成果発表



小倉 輝一氏

有限会社小倉商店

企業概要

住所：千葉県館山市北条1134
事業：最中製造販売、商品企画開発、デザイン
HP：<https://tanekura.jp/>



創業明治39年。4代続く館山の老舗企業の代表取締役として25年従事。米屋として創業した家業だったが、先代の起こした最中種（最中の皮）製造販売の事業をさらに発展させるべく、商品企画開発とデザイン事業をスタート。台風災害からコロナ禍を乗り越えて開発した最中「シナピー」を看板商品として現在も商品磨きを続けている。

成果発表



平山 善典氏

有限会社丸恭

企業概要

住所：千葉県香取市野田340-1
事業：菓子問屋
HP：<http://www.y-marukyo.com/>



創業70年以上の菓子問屋を経営。1985年生まれ、千葉県出身。銚子市立銚子高等学校卒業。千葉経済大学を中途退学し、自動車関連会社に入社。2006年に松戸市の株式会社宮田に入社。全国の卸問屋の受注担当や大手GMSのPB開発、関東圏のSMの営業職を務めた。2011年に有限会社丸恭に入社。2016年に代表取締役に就任。菓子飲料卸売・千葉県産商材を使った菓子開発、全国の優れた珍味の開発、干し芋製造を展開中。

成果発表



蓮田 浩利氏

有限会社くらうど

企業概要

住所：
事業：菓子製造販売卸、農業
HP：<https://renkado.com/>



1990年創業の「菓子処 蓮香堂」代表。創業時は和生菓子中心に製造。2015年に千葉のお土産として千葉落花生サブレを開発。地産地消を目指し、習志野駐屯地のオリジナル菓子の製造等やOEMなどにも取り組んでいる。地元の美味しい原材料（農作物等）を使用した菓子の開発ノウハウを持ち、地元の事業者や農家とコラボレーションしたオリジナルの菓子のデザインから製造まで小ロットで生産・卸を行っている。

マッチング実績の一部をご紹介します



■商品名
3号玉おにぎり(和風味・韓国風味)
★ジャンル：商品開発

■マッチング事業者
株式会社ZOZO・株式会社味良



■商品名
カレーミートボール
★ジャンル：商品開発
■マッチング事業者
穴倉株式会社・石井食品株式会社



■商品名
スパイスと野菜の旨味たっぷりソイミールカレー
★ジャンル：商品開発
■マッチング事業者
千葉商科大学・LOVEG・石井食品株式会社



■商品名
千葉県産米粉のカヌレ
★ジャンル：商品開発
■マッチング事業者
増一屋 合同会社・穴太ホールディングス



「ちばのキラリ」ロゴマークのご紹介

県では、「ちばのキラリと光る優れもの」である地域の特性や資源（以下「地域特性等」という）を活用した商品のPRに役立ててもらうよう、チーバくんを活用したロゴマークを作成しました。



当ロゴマークの使用に当たっては取扱要領に基づき申請が必要となります。手続き等の詳細については下記にお問い合わせください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/renkei/chiiikishigen/logo.html>

「ちばのキラリ」ロゴマークについて

使用できる者

県内に事業所がある中小企業等

対象商品

県内に事業所がある中小企業等が製造又は販売する商品であって地域特性等を活用するもの

用途

商品の包装、販促品、ホームページ等への使用



ちばのキラリ
HP



ちばのキラリ
公式Facebook

イベントに関するお問い合わせ

■ちばのキラリ商品支援事業（ニーズマッチング支援）受託事業者
株式会社オニオン新聞社／TEL043-201-8811

主催：千葉県商工労働部産業振興課ライフサイエンス産業振興室